

高校総体 審判員派遣レポート

CGFA Referee 強化部

福井県福井市及び坂井市において開催された、令和 3 年度全国高等学校総合体育大会サッカー男子競技に、中国地域から 2 人の強化カテゴリー審判員を派遣しました。また、指導者として 2 人の審判インストラクターが JFA から派遣されました。

派遣審判員

矢島 光 審判員（広島県：プール候補審判員）

藤田 亮 審判員（山口県：プール候補審判員）

派遣審判インストラクター

田邊宏司 インストラクター（山口県：S 級インストラクター）

前田拓哉 インストラクター（広島県：I 級インストラクター）



大会前からの大雨による影響、新型コロナ対策とサッカー以外の面で制約や気配りも多く、派遣された審判員、インストラクターともに選手、チーム、試合のために最大限の努力をもって大会に参加されました。

鳥取県代表の米子北高校が決勝まで駒を進め、最後は青森山田高校との激闘の末、惜しくも準優勝となりましたが、中国地域の多くの方々に感動と勇気を与えるものであったことと思います。米子北高校サッカー部関係者の皆さまおめでとうございます。

下に派遣審判員のレポートを紹介します。

令和3年度
全国高等学校総合体育大会
研修参加報告書
(8/13～8/19)



中国サッカー協会
広島県2級審判員
矢島 光

目次

- 研修概要
- 事前研修
- 担当試合 & 振り返り
- オフザピッチ
- さいごに

研修概要

研修参加審判員・役員

JFA審判委員長 <u>黛 俊行 氏</u>	
S級・1級インストラクター	9名
JFA派遣審判員(1級・2級)	27名
研修審判2級	28名
地域派遣審判員(女子1級・2級)	13名
審判運営担当	1名

※中国地方からはインストラクターで田辺氏、前田氏
JFA派遣で赤木氏、藤田氏、矢島氏
研修審判で岩村氏

事前研修①(8/1)@zoom

- 大会概要確認

競技方法の確認、運営上の注意

- 審判員として

審判員の役割と目的の確認

- 競技規則の確認

競技規則改正部分(ハンド)の確認、競技規則テスト

事前研修②(8/4)@zoom

- 競技規則テストの確認

正答率が低かったものの解説

- ヘディングの競り合い

グループディスカッションのち発表

- オフサイド・相手競技者を妨害する

グループディスカッションのち発表

事前研修③(8/10)@zoom

- コロナ対策について

審判員への対策、検査の概要

- ホールディング

グループディスカッションのち発表

- FKのマネジメント

グループディスカッションのち発表

研修概要

月日	大会日程
8/13(金)	移動
8/14(土)	1回戦 第1日
8/15(日)	1回戦 第2日
8/16(月)	2回戦
8/17(火)	休養日
8/18(水)	3回戦
8/19(木)	準々決勝

※試合日は担当試合を審判し、その日のうちに振り返りと会場
ごとで起きた出来事をzoomで共有

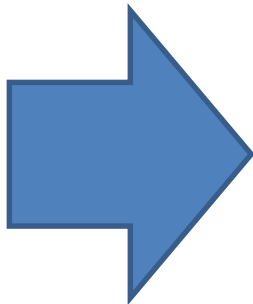
※3回戦のみ割当なしのため観戦研修

担当試合 (8/14 1回戦第1日)

阪南大高(大阪①) VS 中京(岐阜)

@テクノポートスタジアム

担当:主審 黒澤 央 A1 矢島 光
 A2 木戸 洋平 4th 山本 一馬
アセッサー:田辺 宏司



当日、一方のチームが辞退
試合中止

担当試合 (8/15 1回戦第2日)

都市大塩尻(長野) VS 大津(熊本)

@三国運動公園陸上競技場

担当:主審 矢島 光 A1 井上 知昭

A2 片山 卓博 4th 山上 貴暉

アセッサー:太田 潔

振り返り (8/15 1回戦第2日)

ファウルの際に主審が素早く寄ることの意味

1. ファウルをした選手に対する対応(注意)

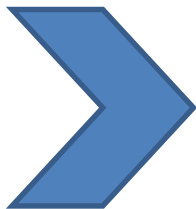
2. 負傷した競技者への対応

3. 警告などの懲戒罰

主審が素早く対応する



上記以外の場合で素早く寄る必要はない
むしろ、クイックスタートの邪魔になる可能性がある



ファウルの程度、負傷者の有無、試合の流れを見て
状況に応じて主審が寄る、寄らないの選別が必要

担当試合 (8/16 2回戦)

開志学園JSC(新潟)VS 阪南大高(大阪①)

@日東シンコースタジアム丸岡人工芝グラウンド

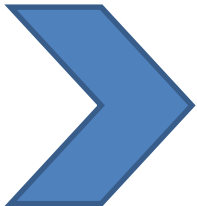
担当:主審 矢島 光 A1 田中 陽達
A2 平島 一起 4th 佐々木 浩明
アセッサー: 山崎 裕彦

振り返り(8/16 2回戦)

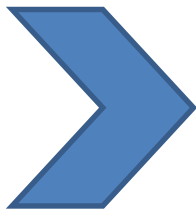
シグナルなどによる見栄えの良さを出す

例えば…

- ひとつひとつのシグナルを止まりながら示す
- コーナーキックの後の下向く癖



自分のシグナルや癖などが見栄えや存在感で損をすることがある



レフェリーの存在感を示すためにも、見栄えの良さを意識的に出すことが大切!!

担当試合 (8/19 準々決勝)

岡山学芸館(岡山) VS 星稜(石川)

@三国運動公園陸上競技場

担当:主審 内山翔太 A1 高橋海星

A2 矢島 光 4th 岡田 司

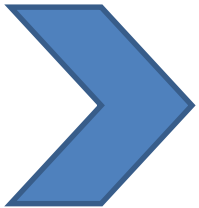
アセッサー:田辺 宏司

振り返り (8/19 準々決勝)

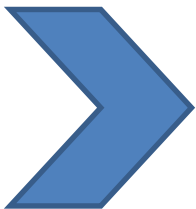
時間稼ぎに対する対応

遅延行為でありがちなこと…

- GK FK CK スローインの際、キッカーが歩いて向かう
- GK CKの際、キッカーがセットして、蹴るまでに時間をかける etc



終盤になるにつれ、レフェリーが自発的に強く対応しないと、ベンチからクレームが上がる要因になる



状況に応じて時間稼ぎをさせない工夫が必要
(FK、GK、CKの際にボールから目を離さない、
または声掛けをし、時間稼ぎをさせない)

オフザピッチ

8/13 大雨により当初乗る予定だった特急が運休

結果…

当日は福井方面に向かう特急が1本だけ運行しており、それで福井に到着できた

➤自身がこの経験で感じたこと

トラブルの未然防止

- ・ダイヤ乱れの事前予測
(天候などの情報収集)
- ・移動手段の確保
電車や飛行機などでの移動も想定

情報発信の重要性

- ・リアルタイムの情報発信
(今回はグループラインで共有)
- ・情報錯綜に伴う無駄な移動が減る
(各々が迷うことなく動ける)

オフザピッチ

8/16 インターハイ参加の審判員にコロナ陽性者

結果…

陽性者と関わったと判断され、PCR検査を実施、その後陰性で通常通りとなる

➤自身がこの経験で感じたこと

コロナに対する対応

- ・自身が体調管理をしてもリスクが0にはならない
- ・研修などでは、リスクが高くなるを理解し、一つ一つの行動を慎重に行うことが大事である

コロナ対策の重要性

- ・手洗い、消毒などの個人の対策や対面での食事禁止など運営側の尽力もありそれ以上に増えることはなかった
- ・限界があるとはいえ、個人や運営での対策が感染者増加の抑止につながることも感じた

さいごに...

中国サッカー協会 審判委員会の方々へ

今回、このような素晴らしい全国大会の研修に選出していただき、ありがとうございます。

この研修で得た経験を無駄にせず、自らが発信していき、今後の中国地域サッカーに貢献できるように引き続き努力してまいります。

福井県 審判委員会の皆様へ

今回、コロナ禍の中という難しい環境の中で我々審判員のために様々なご尽力をいただいたこと、非常に感謝しています。加えて、大雨による対応にも非常に助けられました。

おかげさまで、サッカー人生の中でまたとない貴重な経験を積むことができました。

ありがとうございました。



ありがとうございました 矢島 光

令和3年度 全国高等学校総合体育大会 サッカー競技 男子 参加レポート

山口県2級審判員 藤田亮

〈大会概要〉

大会名 : 令和3年度 全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会
主催 : 公益財団法人全国高等学校体育連盟、公益財団法人日本サッカー協会、
福井県、福井県教育委員会、坂井氏、坂井氏教育委員会
大会期間 : 2021/8/14～8/22
参加期間 : 2021/8/13～8/19
開催地 : 福井県坂井市

〈研修会〉

今大会が始まる前に4回に渡る事前の研修会がZoomを用いて行われました。
内容としては、大会概要の確認、競技規則テスト、映像を用いたグループディスカッション
(ヘディングの競り合い、オフサイド、相手競技者を押さえる反則、FKマネジメント)で
した。

黛委員長から「審判チームとして努力して大会を成功させる」、「全力を出し、コントロール、
マネジメントをする。また、ミスを恐れずに万全の準備(実施要項、競技規則など)をする。」
というメッセージを頂き、全国大会に参加させていただき責任を感じ、大会成功に向けて努
力したいと強く感じました。

また、大会期間中は新型コロナウイルス感染症の予防・対策から集合しての研修は、行わ
れずに夕方、個人ごとにZoomにアクセスをして、情報共有(会場ごとの注意点、コミュニ
ケーションについて)を行いました。

〈担当試合〉

8/14 1回戦 那覇高校 VS 三重高校 (副審1)
8/15 1回戦 飯塚高校 VS 西目高校 (主審)
8/16 2回戦 青森山田高校 VS 初芝橋本高校 (主審)
8/19 準々決勝 静岡学園高校 VS 大津高校 (副審2)

合計4試合

〈担当試合の振り返り〉

○主審として

私自身、初めて全国大会での主審割当をいただき、良い緊張感を持って試合へ挑むことが
出来ました。また、全国大会ということで多くの地域から審判員も参加しているため初めて
の審判チームでの試合運営のため、打ち合わせを大切に、試合への準備を行いました。

動きとポジショニングについては、対角線を意識して、ポジションをとっている点は良い。

中盤でプレーが行われている時の立ち位置（巻き込まれないために横へのスタートを早く動き出す）に関して、アドバイスを頂きました。

判定については、概ね判定基準も悪くないとお言葉を頂きました。しかし、手、腕の不正使用に関しては、試合開始早々はより丁寧に基準を示す。選手がプレーできているから OK、影響が少ないから OK 等あるが、選手が試合の雰囲気慣れ、選手が乗ってきているかなど試合の状況、雰囲気を感じながら、判定をするようにアドバイスを頂きました。

○副審として

副審としての任務はもちろん初めての審判チームということもあり、打ち合わせでの確認事項やフラッグテクニックを意識して試合に臨みました。

担当した試合において難しい判断を要するシーンは特にありませんでしたが、事前の映像を用いたディスカッションにてオフサイドについての研修があり、そこで基本であるがオフサイドラインに正対するという点を改めて確認したため、より意識をしました。フラッグテクニックを用いて、自分が持っている情報を主審に伝えることを意識して行いましたが、ここにおいても、特に問題なく行えたと思います。

〈まとめ〉

この度は、高校総体へ推薦をしていただき、誠にありがとうございました。全国大会へ中国地域を代表して参加させて頂いているという自覚を持ち、事前研修会や、日々のトレーニングに取り組み、「万全の準備」を意識して行いました。

大会には、1級審判員や各地域を代表した2級審判員も参加しており、彼らの試合内外での取り組み姿勢や、試合でのレフェリングを目の前で学ぶことができました。そのような学びや、経験をしっかりと地域や県内の審判員や指導者仲間に、還元することが、派遣された審判員の責任であると思います。

まだまだ未熟な審判員ですが、今回の学びや経験を地域や県の審判員の見本となるように日々の審判活動に取り組みたいと思います。

新型コロナウイルス感染症が蔓延拡大するなか、多くの配慮を頂き、大変な思いで準備やサポートをしていただいた大会運営の皆様や大会関係者の皆様に感謝申し上げます。